SWING LESS JAZZ ORCHESTRA LIVE Vol.25

2016.11.13
SUNDAY
OPEN 12:20
START 13:00

赤坂ビーフラット
http://bflat.biz/

ご来場の際はメンバーからチケットを入手ください。

SWINGLESS JAZZ ORCHESTRA LIVE Vol.25 at AKASAKA B-flat

MARIKO Special Feature

残留派か離脱派か。この歌声を聴かずして結論を出すのは早すぎる。その歌声の主は、コンボからビッグバンドまで様々なグループで活躍する気鋭のジャズボーカリスト。素敵なドレスをまとい聴衆を魅了する美しき歌姫。しかし、ここで伝えたいこととは、スウィングレスジャズオーケストラとのパフォーマンスだ。最近の共演では、昨年スウィングレスライブ Vol.24、年が明けて多摩ジャズフェスティバル、横浜崎陽軒での元メンバーの結婚パーティでのライブが挙げられる。それらの圧倒的な歌声は記憶に新しい。なかでも、特筆すべきは、崎陽軒ライブであろう。実は以前にも崎陽軒でライブをしたことがある。そのとき歌に集中するあまり目前の焼売を逃したことがあった。こともあろうに歌を披露するさなか狙っていた焼売を聴衆に食べられてしまうという失態を演じてしまったのだ。その苦い経験から、今回、崎陽軒２階のレストランで食するという新たな手法で焼売をゲット。レストランの焼売は箱詰よりさらに美味しいのだ。まさに感性と知性をあわせ持つ円熟のパフォーマンス。余裕すら感じさせる。このジャズと焼売への強い思いが聴衆に伝わらない訳がない。ていうか・・焼売はどうでもいい。今回、スウィングレスジャズライブ Vol.25 では、この円熟味を増した歌姫とビッグバンドの共演を聴いてほしいのだ。さらにライブでは持病の腰痛を克服し心身ともにパワーアップした姿が見れるであろう。いや、腰痛もここでは忘れよう。冷やすと悪化するのだ。それもどうでもいい。冴えわたるトークと圧倒的なボーカル。残留か離脱かでなく感性と知性を印象づける。11/13、結論は赤坂ビーフラットにある。

SWINGLESS JAZZ ORCHESTRA

ついに 25 年、25 回目のライブを迎えた。これほど永く続いたのは、皆様の応援とマネージャーの団費取り立てのお蔭だ。素晴らしき明朗会計ビッグバンド。思い起こせば 25 年前、1991 年、出来たてのバンドは、メロウ・ゴージャス・スムース、そんな演奏とは無縁だった。メンバーは若く髪もボウボウだった。週末は場末のスタジオでリハーサルを重ねていた。そのあとの居酒屋天狗、二軒目の十徳で日本酒、さらにPRONTOでハイボール、シメは巨大餃子もしくはラーメン。この限界を超えたストイックなジャズへの取り組みこそスウィングレスのサウンドを作ったと言っても過言ではない。あまりの過酷さに帰宅途中で力尽きる者が続出した。井の頭線の渋谷と吉祥寺を何度も往復した者がいた。鎌倉のベンチで朝を迎える者もいた。取手へ帰ったはずが折り返して上野で目覚めた者もいた。その苦難の歴史を語ればいとまがない・・・。社会人でありながら月曜朝のミーティングを犠牲にして音楽に情熱をそそいできた。そして 25 年目、居酒屋はすっかり１軒目でお開きとなったが、腰痛・抜け毛・老眼・前立腺肥大と次々と押し寄せる新たな試練を乗り越えてきた。その結果、今春、なみいる社会人ビッグバンドの中から多摩ジャズフェスティバルのオーディションを通過したのだ。結成 25 年にして最高のライブパフォーマンスと少しの政治力が花開いた瞬間だ。真摯な音楽への取り組みが認められたと言える。そして今回のスウィングレスジャズオーケストラライブ Vol.25、ジャズとアルコールにまみれた四半世紀の結末。ここに絶頂期を迎えた演奏をご堪能いただきたい。ご来場を心よりお待ち申し上げたい。